

(2011年度)

4 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は22ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 携帯電話・PHSの電源は切ること。
3. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号かどうかを確認し，氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机の上に置くこと。
4. 監督から試験開始の合図があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっているかどうか確かめること。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
7. マークをするとき，枠からはみ出したり，枠のなかに白い部分を残したり，文字や番号，枠などに○や×をつけたりしてはならない。
8. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。採点が不可能になる。
10. 試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1

中東の諸宗教に関する次の文章を読んで、問(1～16)に答えなさい。

ユダヤ教、キリスト教、イスラームの3宗教は、ともに東地中海地域を発祥の地として、セム語系の言語を用いる人々によって始められた一神教である。

それらのうちユダヤ教は、長い歴史のなかで醸成された民族宗教として出発し、やがて出エジプトやヘブライ王国の建国と分裂、バビロン捕囚と帰還といった経験を経て、基本的な形を整えていった。バビロン捕囚の時代に、ゾロアスター教から大きく影響を受けて発達した(1)や天使と悪魔に関する考え方は、後のキリスト教やイスラームにまで大きな影響を与えた。ゾロアスター教は(2)では国を挙げて盛り立てられたが、現在ではイランやインドの一部などに少数の信徒が残るにとどまっている。

マカベア戦争で(3)に勝利して、一時の独立を手に入れたユダヤの人々は、紀元前後にはローマの保護国を経て属州支配の下に置かれていた。この時代に生まれたイエスに、メシアとしてユダヤの独立回復を期待した人々もいたが、イエスは神の絶対愛と隣人愛に基づき、万人に開かれた信仰の道を示した。その死後、イエスの復活を信じる人々によって、メシアのギリシア語訳であるキリストの名をもってその宗教は広められていった。とくに(4)は異民族への伝道に力を注ぎ、「異邦人の使徒」と称された。

いつときは苛烈な迫害にさらされたものの、(5)が発したミラノ勅令による公認を経て、キリスト教はローマ帝国にも広まっていった。しかし、中世のカタリ派にまで影響を与えた(6)のように、その他の東方由来の諸宗教も当時のローマでは広範に信仰されており、キリスト教が帝国における圧倒的優位を確立するのは、392年に異教信仰が禁止されて以降のこととなる。この後、キリスト教は帝国の全域において支配的な宗教となるが、ほどなくして、五本山と呼ばれる総大司教座教会間の対等の関係は崩れ、ローマ教会とコンスタンティノープル教会は(7)をめぐって対立し、(8)による聖像禁止令などをきっかけとして、1054年にはたがいを破門することとなった。

7世紀にメッカから興ったイスラームは、8世紀半ばにはイベリア半島から中央アジアの一部やインダス川河口域までの広範な地域を支配下に置いた。イス

ラームはムハンマドとその後継者であるカリフの下に、すべてのムスリムを包括した信仰共同体の存在を重視したが、同時にユダヤ教やキリスト教などの信徒を「啓典の民」と呼んで、イスラーム法の受容を条件に、それぞれの信仰、生命、財産の保証と共同体の自治を認めた。

その結果として、イスラーム期以降の中東では、あくまでもムスリムが優遇されてではあったが、諸宗教の共存がある程度まで達成された。イベリア半島のユダヤ教徒やキリスト教徒は、その地に花開いたイスラーム文化の支え手として活躍したが、(9)が滅亡して国土回復運動が完成すると、ムスリムはその地を逐われ、ユダヤ教徒も迫害にさらされて、大半が改宗したりオスマン帝国領に移住したりした。他方、イスラーム支配地域に組み込まれたキリスト教の3総大司教座教会はコンスタンティノープル教会とつながりを保ち、やがてコンスタンティノープル自体がオスマン帝国領に併呑されても、この都市のギリシア正教会の首座としての地位はゆらがなかった。さらに、5世紀の二つの公会議で異端とされたネストリウス派や単性論派も容認され、それぞれの地域で独自の教会を築いた。イスラーム自体の内部にも諸派が分立していき、多数派であるスンナ派の間にも様々な法学派が相互に容認しつつ成立し、さらに12世紀の(10)に成立したカーディリー教団など、種々のスーフィー教団が成立するようになると、イスラームの信仰のありようも多様性をましていった。

こうして、セム的一神教に連なる多数の宗教や宗派が併存する地域として、中東は存続してきたが、19世紀以降、ヨーロッパによる植民地化の危機やパレスチナ問題に代表される地域紛争の頻発、イスラーム復興運動の興隆のなかで、宗教宗派対立があおられる状況が創出されており、現代世界にとって大きな問題の一つとなっている。

問1 空欄(1～10)に入るのもっともふさわしいものを、それぞれの選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a 選民思想 b 最後の審判 c 戒律主義 d 救世主待望
- (2) a アケメネス朝 b アルサケス朝 c ササン朝
- d クシャーナ朝

- (3) a ハスモン朝 b ヘロデ朝 c セレウコス朝
d アンティゴノス朝
- (4) a ペテロ b パウロ c マタイ d ヨハネ
- (5) a テオドシウス b ユスティニアヌス
c コンスタンティヌス d ホノリウス
- (6) a イシス教 b マニ教 c マズダグ教 d ミトラ教
- (7) a 皇帝選出権 b 総主教任免権 c 聖職叙任権
d 首位権
- (8) a ヘラクレイオス1世 b アルカディウス c レオン3世
d アウグストゥルス
- (9) a バフマン朝 b ナスル朝 c ムワッヒド朝
d イドリース朝
- (10) a カイロ b ダマスクス c バグダード d メッカ

問2 下線部(あ)の第2代の王を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ソロモン b ダヴィデ c サウル d アブラハム

問3 下線部(い)について強制移住を実施した君主と解放した君主の組み合わせとして正しいものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アッシュル＝バニパルとキュロス2世
b ネブカドネザル2世とキュロス2世
c アッシュル＝バニパルとカンビュセス2世
d ネブカドネザル2世とカンビュセス2世

問4 下線部(う)の中国における名称を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 景教 b 清真教 c 摩尼教 d 祇教

問5 下線部(え)の本来の意味を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 神の言葉を預かる者
- b 神が遣わした者
- c 破滅から救う者
- d 油を注がれた者

問6 下線部(お)のうち，マニ教に大きな影響を与えた宗教として，もっともふさわしくないものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 仏教
- b ゾロアスター教
- c イシス教
- d キリスト教

問7 下線部(か)でないものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アレクサンドリア
- b ダマスクス
- c イエルサレム
- d アンティオキア

問8 下線部(き)における2つの大規模な戦いを古い順にあげ，そのときのイスラーム側の王朝を示した組み合わせとして正しいものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ウマイヤ朝によるタラス河畔の戦い→ウマイヤ朝によるトゥール・ポワティエ間の戦い
- b アッバース朝によるトゥール・ポワティエ間の戦い→アッバース朝によるタラス河畔の戦い
- c ウマイヤ朝によるタラス河畔の戦い→アッバース朝によるトゥール・ポワティエ間の戦い
- d ウマイヤ朝によるトゥール・ポワティエ間の戦い→アッバース朝によるタラス河畔の戦い

問9 下線部(く)を名乗った統治者ではない人物を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ムアーウィヤ
- b ハールーン＝アッラシード
- c マリク＝シャー
- d アブドユル＝ハミト2世

問10 下線部(け)により征服地の異教徒にとくに課せられたものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 人頭税 b 兵役 c 労役 d 地租

問11 下線部(こ)の地で活躍したムスリムの学者を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a フワーリズミー b イブン＝ハズム c ガザーリー
d ラシード＝アッディーン

問12 下線部(さ)を開催時期の古い順に並べたときに正しいものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ニケーア公会議→カルケドン公会議
b エフェソス公会議→カルケドン公会議
c カルケドン公会議→エフェソス公会議
d カルケドン公会議→ニケーア公会議

問13 下線部(し)の説明として，もっともふさわしいものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a キリストの神性と人性の分離を説く。
b 父なる神，子なるイエス，聖霊の3者は同質で不可分とする。
c キリストに神性を認め人性を認めない。
d キリストに人性を認め神性を認めない。

問14 下線部(す)の諸派のうち，ファーティマ朝の支配層が信奉した宗派を，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ハワーリジュ派 b 十二イマーム派 c イスマーイール派
d ザイド派

問15 下線部(せ)について正しいものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ユダヤ系ジャーナリストであるヘルツルは，20世紀初頭のパリでドレフュス事件に遭遇して衝撃を受け，ユダヤ人の民族主義運動であるシオニズム運動を興した。
- b 1917年英国の首相バルフォアは，第一次世界大戦の戦費調達にユダヤ系金融資本の協力を得るため，ユダヤ人がパレスチナで民族的郷土を設立することへの賛意を表明し，支援を約した。
- c 1947年11月の国連総会で決議されたパレスチナ分割案をアラブ側は拒否したが，ユダヤ側は1948年5月一方的にイスラエル建国を宣言し，直ちに第一次中東戦争に突入，米英などの支持を受けてこれに圧勝した。
- d 1988年，PLOはパレスチナ国家樹立宣言を発し，これは1991年バルセロナでの中東和平会議を経て，1993年のオスロ合意につながったが，これに反発する極右ユダヤ人学生のラビン首相暗殺によって，和平は停滞に陥った。

問16 下線部(そ)について誤りを含んだものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a イスラーム復興運動の高まりにより，1991年のアルジェリア総選挙ではイスラーム救国戦線が圧勝したが，これに反発した軍によって選挙は無効化され，国内に深刻な対立状態が生じた。
- b ムスリム同胞団はイスラーム復興運動の先駆けと言える組織であり，1929年にシリアで結成された。
- c イスラーム復興運動の源流と言えるパン＝イスラーム主義は，イラン出身のアフガーニーらによって提唱され，アフガーニーの弟子であるエジプト出身のムハンマド＝アブドゥフらによって広められた。
- d イスラーム復興運動が高まりを見せるなか，エジプト＝イスラエル平和条約締結に反発する過激な一派によって，サダト大統領は1981年軍事パレードの閲兵中に射殺された。

2

以下の文章を読んで、問(1～3)に答えなさい。

美術品の公的または私的な蒐集である美術コレクションは、古代より権力者の嗜好品であると同時に権力の象徴でもあった。古代ローマ世界ではギリシアの美術品、もしくはそのコピーを広大な邸宅や別荘に陳列していた。五賢帝の三人目である(1)帝がローマ郊外ティヴォリに造営した別荘では今でもその面影を偲ぶことができる。

中世末以降は宮廷や富裕な市民が蒐集を行っていたが、特にルネサンス期になると富裕層、支配者層の間で古典古代を規範とした美術品蒐集が行われるようになった。フィレンツェの(2)家、ミラノの(3)家などがよく知られている。一時期(2)家は(4)の、そして(3)家は(5)の庇護者でもあった。(5)は後にフランスに行き、国王(6)の寵愛を受けている。

やがて国家体制の確立とともに、宮廷コレクションが成立していくが、そこでは16世紀以降の「完成された」様式がもてはやされた。たとえば(4)、あるいはヴェネツィアのティツィアーノなどである。宮廷コレクションの選定には、おなじく16世紀に成立した宮廷お抱えの美術アカデミー(美術学校・研究所)が大きな発言力を有していた。こうした状況の中で、15世紀イタリア・ルネサンスを代表する画家(7)等は忘れ去られてしまう。彼らの再評価は19世紀末以降であり、ラファエル前派の登場と時を同じくしている。

やがて、こうした宮廷コレクションを核として、啓蒙主義時代、そしてフランス革命後に美術館が成立していく。

スペイン・ハプスブルク家のコレクションが基となっているプラド美術館は、1819年に「王立美術館」として開館、1868年の革命の後、立地の通称からってプラド美術館となった。クレタ出身でトレドで活躍した(8)の他、「ラス・メニーナス(宮廷の侍女たち)」を描いた(9)、「1808年5月3日」^(イ)や連作「黒い絵」の作者(10)などスペインを代表する画家の作品の他、ボスや^(ロ)(11)の作品などフランドル派を多く所蔵しているのは、16世紀から17世紀にかけてフランドルがスペイン領だったからである。他にもイタリアの巨匠などの傑作が揃っているが、一方で、アメリカ大陸の作品が全くないことも注目される。アメリカ

大陸からもたらされた膨大な富は、西歐美術の名品コレクションに姿を変えることはあっても、当地の美術が紹介されることはほとんど皆無だったのである。

パリのルーヴル美術館はフランス革命を機に、荒廃していた宮殿を利用して「諸芸術の中央美術館」として一般公開された。当初のコレクションの大部分はフランス王室、あるいは大修道院が所有していたものだったが、ナポレオンの登場以降、飛躍的に充実する。注目されるのは、1797年のトレンティーノ条約に基づいてパリに運ばれたローマ教皇コレクションである。ナポレオンは膨大な量のローマ教皇コレクションの中から特に、古代ギリシア、ローマの作品を選んでパリに運び、ルーヴルの1階に「古代美術館」を開設しているが、これは、ナポレオンが自らを古代ローマ皇帝の後継者と考えていたことと無関係ではない。もっとも、ナポレオン敗北後の1815年の(12)によって戦利品の大部分はローマに返還されている。その一方で、19世紀初頭のギリシアでの本格的な発掘の成果である「ミロのヴィーナス」や「サモトラケのニケ」は、今もルーヴルの至宝である。

(二) なお、(13)年からのナポレオンのエジプト遠征以来、エジプトへの関心は高まっていたが、(14)年に神聖文字が解読されたことにより、さらに人々の興味をひくようになった。そして、ルーヴル美術館には早くも1826年にエジプト部門が設けられる。

ロンドンの大英博物館の起源は啓蒙主義時代にさかのぼる。個人コレクションを母体としており、現在でも所蔵品の多くは個人蒐集家の寄贈によるものである。とりわけ大英帝国時代に植民地等から持ち込まれたものが多い。その中には、本来帰属していた国の文化を代表するような例も少なくなく、今日、さまざまな国で返還運動がおこっている。古典ギリシア彫刻の頂点とも言われるアテネのアクロポリスの丘の(15)神殿破風彫刻もその一つである。1799年にエジプトの(16)で発見された(17)を讀えた石碑も現在、大英博物館にあるが、エジプト政府から返還要求が出されている。

問1 空欄(1~17)にもっとも適切なものを選択肢(a~e)から1つ選びなさい。

- (1) a アントニウス=ピウス b ネルヴァ c トラヤヌス
d マルクス=アウレリウス=アントニヌス e ハドリアヌス
- (2) a ゴンザーガ b エステ c メディチ d スフォルツァ
e ファルネーゼ
- (3) a ゴンザーガ b エステ c メディチ d スフォルツァ
e ファルネーゼ
- (4) a ミケランジェロ b ジョット c ペトラルカ
d カラヴァッジョ e レオナルド=ダ=ヴィンチ
- (5) a ミケランジェロ b ジョット c ペトラルカ
d カラヴァッジョ e レオナルド=ダ=ヴィンチ
- (6) a フランソワ1世 b ルイ12世 c ルイ13世
d シャルル9世 e アンリ4世
- (7) a ブリュエゲル b デューラー c クラナハ
d ホルバイン e ボッティチェリ
- (8) a ムリリヨ b ゴヤ c ベラスケス d スルバラン
e エル=グレコ
- (9) a ムリリヨ b ゴヤ c ベラスケス d スルバラン
e エル=グレコ
- (10) a ムリリヨ b ゴヤ c ベラスケス d スルバラン
e エル=グレコ
- (11) a ルーベンス b ホルバイン c フェルメール
d レンブラント e フラゴナール
- (12) a 神聖同盟 b ライン同盟 c 七月勅令 d 七月革命
e 復古王政
- (13) a 1793 b 1794 c 1796 d 1798 e 1799
- (14) a 1820 b 1822 c 1824 d 1827 e 1828

- (15) a ポセイドン b パンテオン c ゼウス d アポロン
 e パルテノン
- (16) a ロゼッタ b メンフィス c テーベ
 d アレクサンドリア e ギザ
- (17) a メネス b アメンホテプ4世 c ラメス2世
 d クフ王 e プトレマイオス5世

問2 以下の6つの絵(a～f)から下線(イ～ハ)に相当するものを選びなさい。

a



b



c



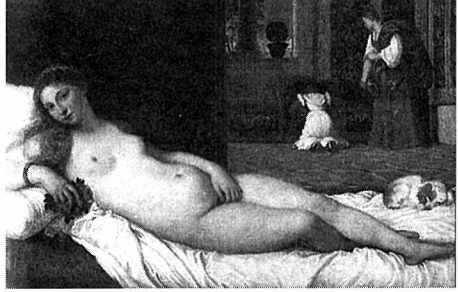
d



e



f



問3 以下の6つの彫刻(a～f)から下線(ニ, ホ)に相当するものを選びなさい。

a



b



c



d



e



f



3

次の文章〔Ⅰ，Ⅱ〕を読んで、下線部に関する問(1～15, 17～18)の答を、選択肢(a～e)から1つ選びなさい。問16は2つ選びなさい。

〔Ⅰ〕 欧米で1873年から1890年代半ばまで続いた「大不況」の時代は、数年で好不況が変化する従来型の景気循環ではなく、長期にわたる不況期であり、企業経営のあり方も変化し、新しい産業も誕生する、経済構造の転換期であった。それが証拠に、この「大不況」が終わると、第一次世界大戦勃発まで、欧米は長い経済成長期を迎えた。

19世紀後半から20世紀初頭にかけてのこの時期に、欧米では、第二次産業革命が進展し、新しい動力源が使用されるようになり、新しい産業⁽¹⁾が成立した。⁽²⁾新しい産業の確立には、高度な技術と巨大な設備投資が必要であり、また「大不況」を乗り越える必要からも、企業の集中・独占⁽³⁾が進行した。

1 下線部(1)「第二次産業革命」の結果、世界の工業国のランキングが変化した。主要5カ国の世界における工業生産のシェアを示すA図で、アとイの国名は何か。

ア a イギリス b フランス c アメリカ d ドイツ
e ロシア

イ a イギリス b フランス c アメリカ d ドイツ
e ロシア

2 アの国が工業国世界一の座から滑り落ちた原因は、この国の工業生産高が減少したからではなく、他国の生産高が急増したからである。主要4カ国の工業生産の増加率を示すB図で、キとクの国名は何か。

キ a イギリス b フランス c アメリカ d ドイツ
e ロシア

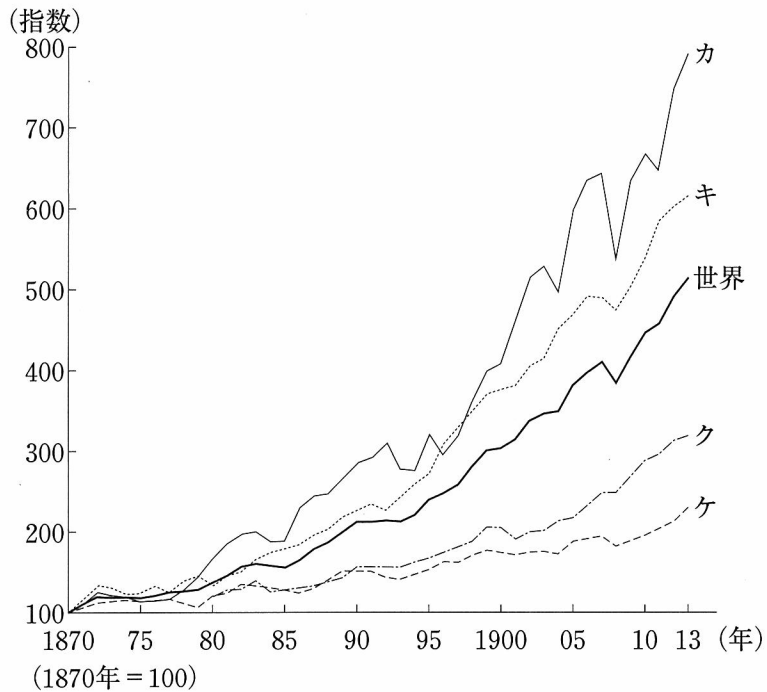
ク a イギリス b フランス c アメリカ d ドイツ
e ロシア

A：世界の工業生産にしめる主要5ヶ国の割合

年	ア	イ	ウ	エ	オ その他
1870	31.8(%)	23.3	13.2	10.3	17.7
1881~1885	26.6	28.6	13.9	8.6	18.9
1886~1900	19.5	30.1	16.6	7.1	21.7
1906~1910	14.7	35.3	15.9	6.4	22.7
1913	14.0	35.8	15.7	6.4	22.6

(1870, 1913年以外は5ヶ年平均)

B：主要4ヶ国の工業生産指数



- 3 下線部(2)「新しい産業」の1つ、自動車工業に関して、正しい説明はどれか。
- a 1870年代アメリカで、史上初のガソリン二輪自動車(オートバイ)が完成した。
 - b 1880年代半ばにベンツが、ガソリン四輪自動車を完成した。
 - c ダイムラーは、1890年代にディーゼル機関を発明し、自動車生産を事業化した。
 - d 20世紀に入って開発された大量生産方式によって、自動車生産のコストダウンが可能になり、自動車は普及していった。
 - e 大量生産による自動車生産のコストダウンを行って「自動車王」になった人物は、クライスラーである。
- 4 「新しい産業」の1つ、電機工業が発展する前提として、電磁誘導の法則(モーターの原理)が発見されていたことがある。この法則の発見者は誰か。
- a マイヤー b ファラデー c リービヒ d エディソン
 - e ヘルムホルツ
- 5 「新しい産業」によって電車・電灯などが登場し、都市は新たな景観を得て、近代都市が誕生した。この時期に、首都の大規模な都市改造をしたことで有名な人物は誰か。
- a ウィルバーフォース b ルイ＝ブラン c サン＝シモン
 - d チャドウィック e オスマン
- 6 下線部(3)「企業の集中・独占」について、正しい説明はどれか。
- a 同一業種の企業が、独立性を保ちつつ、価格・生産量・販路などを互いに協力して、市場の独占をはかる仕組みを、カルテルという。
 - b 独立した企業同士が、共同の販売組織をつくって、価格や生産量・販路の協定を強化する仕組みを、トラストという。
 - c 同一業種の企業が、有力資本のもとに吸収・合併され、市場の独占がはかれる仕組みを、コンツェルンという。

- d 多種の企業が、単一資本のもとに統合・支配され、市場の独占がはかられる仕組みをシンディケートという。
- e 第二次世界大戦前の日本の財閥は、シンディケートにあたる。

7 「企業の集中・独占」の結果、巨万の富を得る実業家が誕生した。トラスト形成によって、アメリカ石油業界の支配者になったのは誰か。

- a モルガン b ロスチャイルド c クルupp
- d ロックフェラー e カーネギー

8 「企業の集中・独占」を規制するために、アメリカでは反トラスト法が制定された。1890年に成立した反トラスト法を推進した人物は誰か。

- a ワグナー b フーヴァー c ケインズ d シャーマン
- e クレイトン

[Ⅱ] 19世紀末の大不況を乗り越えるために、イギリス、フランスなどの先進資本主義国は、製品輸出や海外市場の確保に加えて、資本そのものを輸出して海外からの利子を得る方法に重点を移した。一方、ドイツ・日本などの後発の資本主義国は、保護政策を採用して国内市場を守る一方で、国内に形成された独占資本と提携して、軍事力を背景にして対外進出をはかった。その結果、列強間の軍備拡張競争や、植民地獲得競争が激化した。この時代を帝国主義時代という。

9 下線部(4)の「イギリス」が本格的に海外進出を始めたのは、16世紀末からとってよいが、17世紀半ばにイギリスの植民地だったのは、どこか。

- a ニューファンドランド b ルイジアナ c ジャマイカ
- d セイロン島(スリランカ) e ケープ植民地

10 下線部(5)の「フランス」は、17世紀末から19世紀初頭まで、イギリスと「第二次英仏百年戦争」と言われる植民地獲得戦争を行った。インドにおける両国の

勝敗を決定づけた18世紀半ばの戦争は何か。

- a パーニーパットの戦い
- b マイソール戦争
- c マラーター戦争
- d シク戦争
- e プラッシーの戦い

11 下線部(6)に関連して、19世紀後半にイギリスが最大株主になったため、事業経営でイギリスの発言権が非常に大きくなったものはどれか。

- a スエズ運河
- b パナマ運河
- c シベリア鉄道
- d 大陸横断鉄道
- e 東清鉄道

12 下線部(7)として、ドイツが「大不況」の時期にとった政策はどれか。

- a 「世界政策」
- b 保護関税法
- c 文化闘争
- d 再保障条約
- e 疾病・災害・養老保険法

13 問12の政策の基礎となる経済理論を唱えた人物は誰か。

- a ジョン＝ステュアート＝ミル
- b リカード
- c リスト
- d マルサス
- e マルクス

14 下線部(9)「軍事力を背景にして対外進出をはかった」ことは、列強間の対立を深めただけではなく、現地住民の抵抗運動も引き起こした。列強の対外進出や植民地支配に対して行われた、次の抵抗運動名と地域の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- a ウラービーの反乱・エジプト
- b マフディーの反乱・スーダン
- c マジ＝マジの蜂起・ドイツ領東アフリカ
- d サミン運動・ベトナム
- e タバコ＝ボイコット運動・イラン

15 下線部(10)の「軍備拡張競争」を推進した人物といえるのは誰か。

- a ティエール
- b ヴィルヘルム 2 世
- c ブーランジェ
- d クレマンソー
- e グラッドストーン

16 下線部(11)の植民地獲得競争によって、19、20世紀転換期にはアフリカで列強の衝突が頻発した。次の事件で衝突したのはどの国か。誤っている組み合わせを2つ選びなさい。

- a タンジール事件：イギリスとドイツ
- b アガディール事件：フランスとドイツ
- c ファショダ事件：イギリスとフランス
- d モロッコ事件：ドイツとフランス
- e 南アフリカ戦争：イギリスとオランダ

17 コンゴ領有をめぐる紛争を解決するために1884～1885年に開かれた国際会議で、先に占領した国が領有できる原則(先占権)が確認された。それ以後、アフリカ分割競争に拍車がかかった。この国際会議が行われた場所は、どこか。

- a ハルツーム b カイロ c トリポリ d アルヘシラス
- e ベルリン

18 20世紀初頭までにアフリカはほとんど列強の植民地となった。わずかに独立を保った国もあったが、それはどこか。

- a マダガスカル b アルジェリア c リベリア d カメルーン
- e ガーナ

4 次の文章(A～E)を読んで、後の問(1, 2)に答えなさい。正解は選択肢(a～d)からもっともふさわしいものを1つ選び、正解がない場合はeをマークしなさい。

A (1)年にスターリンが死亡すると、ソ連は、ユーゴスラヴィアと和解するなど外交政策の見直しをはかった。(2)⁽¹⁷⁾4巨頭会談につづき、西側諸国と国交を回復した。フルシチョフ第一書記は、ソ連共産党第(3)回大会でスターリン批判を展開し、さらに資本主義国との平和共存路線を打ち出し、東

西間の緊張緩和政策を表明した。この時期のことを(4)という言葉で表現する。こうした流れのなか、ソ連共産党が各国共産党への内政干渉を行ってきたコミンフォルムも解散した。⁽¹⁸⁾

B スターリン批判の影響のもと、ポーランドでは、ポズナニ暴動が起こった。⁽¹⁹⁾
(5)でも反ソ暴動が勃発し、(6)が首相に就任し、ソ連軍の撤退や、ワルシャワ条約機構からの脱退を声明したが、ソ連軍に押しつぶされた。⁽²⁰⁾

C フルシチョフは(7)年、ソ連の最高指導者として初めて訪米した。米ソ⁽²¹⁾
両国首脳が会談し、米ソ協調の精神が生まれた。しかし、1962年、キューバにソ連がミサイルを配備したことにより米ソは対立し、アメリカがミサイル撤去を求め(8)を断行し、世界は米ソの軍事衝突の危機に直面した。このキューバ危機後、米ソ両国は1963年に(9)に調印した。フルシチョフは⁽²²⁾
1964年に解任され、失脚後、ブレジネフが党の最高指導者となり、首相には(10)が就任した。

D 1960年代、ソ連や東欧の社会主義国では経済の停滞が続いた。(11)大統領のもと、ルーマニアは、ソ連の利益優先のコメコンに批判的になり、自国にある(12)を武器に、ソ連と距離を置く独自外交を進めた。⁽²³⁾チェコスロヴァキアでは、(13)政策が推進され(14)らを指導者とする、「プラハの春」と呼ばれる運動に発展した。ソ連はワルシャワ条約機構の4カ国をひきいて軍事介入したが、ルーマニアは参加しなかった。

E 1970年代、米ソ両国の軍縮が進展した。1972年に、第1次戦略兵器制限交渉に調印し、翌年両国は(15)協定に調印した。1979年には、第2次戦略兵器⁽²⁴⁾
制限交渉による条約が調印された。1980年代に入ると、戦略兵器削減交渉が⁽²⁵⁾
進められた。1987年には(16)条約が調印され、米ソが初めて核兵器の削減に同意した。

問1 空欄(1～16)に入るべき語は、それぞれ何か。

- (1) a 1952 b 1953 c 1955 d 1956
- (2) a カイロ b パリ c ジュネーブ d マルタ
- (3) a 18 b 19 c 20 d 21
- (4) a 「デタント」 b 「雪どけ」 c 「ペレストロイカ」
d 「善隣外交」
- (5) a アルバニア b ブルガリア c ユーゴスラヴィア
d ハンガリー
- (6) a ワレサ b ヤルゼルスキ c ナジ=イムレ
d ホネカー
- (7) a 1958 b 1959 c 1960 d 1961
- (8) a 「赤狩り」 b 偵察機撃墜 c 海上封鎖
d 「巻き返し政策」
- (9) a 部分的核実験停止条約 b 包括的核実験禁止条約
c 核拡散防止条約 d 南太平洋非核地帯条約
- (10) a ブルガーニン b アンドロポフ c チェルネンコ
d ヤクーニン
- (11) a テイトー b チャウシェスク c ミロシェヴィッチ
d ギエレク
- (12) a 石油 b 石炭 c 鉄鉱石 d 希少金属
- (13) a 民営化 b 民主化 c 宥和 d 市場化
- (14) a ハヴェル b イーデン c マサリク d ドブチェク
- (15) a 核兵器現状凍結 b 核戦争防止 c 原水爆禁止
d 核拡散防止
- (16) a 中距離核戦力全廃 b 戦略核削減 c 戦略防衛構想
d 弾道弾砲撃ミサイル制限

問2 下線部(17～25)にそれぞれ対応する設問(17～25)に答えなさい。

- (17) ユーゴスラヴィアがコミンフォルムから除名されたのは何年か。
a 1948年 b 1949年 c 1951年 d 1953年
- (18) コミンフォルム結成の背景と無関係なものはどれか。
a マーシャル=プラン b 封じ込め政策
c トルーマン=ドクトリン d ブレジネフ=ドクトリン
- (19) ポズナニ暴動の結果ポーランドで生じたことは何か。
a ゴムウカ政権崩壊 b ワレサ政権崩壊 c カダル政権成立
d ヤルゼルスキ政権成立
- (20) ワルシャワ条約機構を1960年代に脱退した国はどこか。
a ルーマニア b ポーランド c チェコスロヴァキア
d ユーゴスラヴィア
- (21) この会談が行われた場所はどこか。
a ブレトンウッズ b キャンプ=デーヴィッド
c ワシントンDC d パグウォッシュ
- (22) キューバ危機が起こった際の米大統領は誰か。
a ニクソン b アイゼンハウアー c ジョンソン
d ケネディ
- (23) コメコンが解消したのは何年か。
a 1988年 b 1989年 c 1990年 d 1991年
- (24) この条約は調印されたが発効しなかった。その理由は何か。
a ソ連軍アフガニスタン侵攻 b コソヴォ問題
c 第4次中東戦争 d ベルリンの壁開放
- (25) 戦略兵器削減条約の略語はどれか。
a SALT b START c SEATO d CTBT

